

## 令和3年度当初予算編成について

### ◎はじめに

今回の当初予算は、県民の健康や暮らしを守る新型コロナウイルス感染症対策に全力を傾注するとともに、最優先課題である西日本豪雨災害からの創造的復興に総力を挙げて取り組むこととし、特に、市町と連携してえひめ南予きずな博を開催することにより、復興へ力強く歩む南予地域の姿を県内外に発信し、新たな交流の創出を目指すこととした。

また、コロナ禍による社会経済情勢の変化を的確に捉え、デジタル技術を駆使した新たな価値創造のための県政のDX（デジタルトランスフォーメーション）を積極的に推進するほか、引き続き「愛顔あふれる愛媛づくり」の第3ステージに掲げた公約の実現に向けて、大規模災害等に備えた防災・減災対策、大都市圏からの移住者受入れや企業誘致の推進などの人口減少対策、県産品の更なる販路拡大などの実需の創出を追求する地域経済の活性化に重点的に取り組むこととした。

さらに、農林水産業や中小企業等の体質強化に加え、官民共同で創設した子どもの愛顔応援ファンドを活用した子育て支援施策の充実や、2022年プロ野球オールスターゲームの本県開催に向けた機運醸成などの重要施策を着実に推進するほか、国の第3次補正予算に対応した各種対策に取り組む2月補正予算とあわせて切れ目のない対策を講じることとした。

編成に当たっては、県民のニーズや県議会各会派の要望も踏まえながら、スクラップ・アンド・ビルドを徹底し、限られた財源を愛顔枠や防災・減災強化枠に積極的に投入するなど、メリハリの利いた予算編成を行うこととした。

### ◎具体的な予算編成方針については

#### ○新型コロナウイルス感染症対策の強化

##### 1 感染拡大と医療崩壊を防ぐ

医療従事者への応援手当金の支給や各医療圏域のPCR検査体制の維持強化を行うとともに、感染症から回復した患者の転院を受け入れる医療機関への協力金の支給や、重点医療機関等の病床確保と宿泊療養施設の運営に取り組むなど、医療提供体制の充実を図ることとした。

また、国や市町、医療機関等と連携し、新型コロナウイルスワクチンの円滑な接種に向けた体制の整備を図るとともに、入院患者を受け入れる医療機関の従事者への宿泊費助成や、検査を希望する妊婦への分娩前PCR検査を実施することとした。

さらに、福祉サービスを継続するため、E-WELネットに参画する協力法人に対し、職員派遣に係る協力金を支給するほか、介護や障がい、児童福祉の各施設の感染予防に係る衛生用品等の整備を支援することとした。

##### 2 暮らしを守り、地域経済を立て直す

自殺相談体制を強化するため、夜間や休日の電話相談に係る通話料の無料化や、新たにSNS（コミュニケーションアプリ・LINE）を活用した相談に応じるとともに、通学時の感染リスクを低減するため、特別支援学校のスクールバスを増便するほか、今後の感染拡大による学習活動への影響に備えて、小中学校の教育活動への支援体制を整備することとした。

また、離職や休業を余儀なくされている労働者の再就職等を支援するため、産業別のオンライン職業訓練を実施するとともに、労働需要の不均衡を解消するため、企業間の出向契約のマッチングを支援するほか、県外学生の就職活動に要する交通費を助成して、Uターン就職を促進することとした。

さらに、事業活動に支障が生じている中小企業者等の資金繰り支援や、国の雇用調整助成金への県独自の上乗せ補助を継続するとともに、複数の事業者が連携して取り組む新しい生活様式の実践例に対応した商品開発や、クラウドファンディングを活用して新ビジネスに挑戦する事業者、感染防止策を講じて賑わいを創出する商店街に加え、オンラインを活用して伝統工芸を体験できる商品開発や、米国をターゲットとした越境ECに取り組む事業者など、事業ニーズに応じた多様な支援にも取り組むこととした。

このほか、和牛肥育農家の経営継続に向け、国制度への県独自の上乗せ助成を行うとともに、松山空港国内線や地域公共交通を支える鉄道・バス・航路の路線維持や、マイクロツーリズムの定着に取り組む宿泊事業者等への支援に取り組むほか、感染収束を見据え、主要空港からの外国人観光客の誘客を強化して、観光需要の回復を図ることとした。

## ○西日本豪雨災害からの創造的復興

### 1 生活再建支援と防災機能の強化

今なお仮設住宅等での生活を余儀なくされている被災者の見守り支援等に関係市と連携して取り組むとともに、肱川水系治水対策の目標を10年前倒しして、新たな整備計画に基づく堤防等の整備を集中的に実施するほか、再度災害防止に向けた砂防施設の整備や治山工事を行うこととした。

### 2 活力と賑わいを創出する産業復興

甚大な被害を受けた南予地域の復興に向け、新たな交流と実需の創出を図る「えひめ南予きずな博」を市町と連携して開催するとともに、きずな博と連携した南レク公園の魅力発信と集客促進を図るほか、柑橘園地の再編復旧と柑橘農家の早期復興に向けた支援に引き続き全力で取り組むこととした。

## ○愛顔あふれる愛媛づくり（第3ステージ）

### 1 デジタル技術を駆使した施策展開

#### (1) 行政のDX推進

最新のデジタル技術を駆使した新たな価値創造に向け、県政のDXを積極的に推進し、県民サービスの充実を図っていくため、DXの推進体制の構築と、地域課題の解決等に向けた官民共創のためのデジタルプラットフォーム

の運営に取り組むとともに、ICT技術の活用による業務の効率化を図るなど、スマート県庁への転換を目指すこととした。

## (2) 暮らしのDX推進

防災分野における5G通信の活用に向け、国や情報通信関連企業等と連携して検討を行うとともに、愛南地域で5G通信を活用した遠隔医療システムの構築を進めるなど、県民の安全・安心の確保を図ることとした。

## (3) 産業のDX推進

デジタルデータの効果的な活用によるマーケティングの高度化を図り、各種施策に反映するとともに、産業技術研究所を核に県内企業が取り組む5G通信関連の製品開発への支援や、高画質な4K映像を活用して農業生産現場と指導機関をネットワークで結び、リアルタイムに助言・指導が行えるシステムの開発を進めるなど、更なる実需の創出に向けた取組みを加速することとした。

## 2 雇用、経済に愛顔を

### (1) 戦略的な営業活動の展開

デジタルマーケティングを活用したポータルサイト「愛媛百貨選」による愛媛ブランドの認知拡大と、大手ECサイトと連携した県産品の販売促進を図るとともに、大手小売業者と連携した東南アジア等での愛媛フェアの開催のほか、ものづくり企業のデジタル技術導入に向けた現場診断と、県内IT企業とのマッチングを行うこととした。

また、東アジアや欧米等で柑橘や盆栽等の農産物をはじめ、媛すぎ・媛ひのきの輸出促進に向けた販路開拓を展開するほか、大型ブリなど愛育フィッシュの輸出拡大を支援することとした。

### (2) 活力ある産業づくり

中小企業者等の経営安定化や新規創業等を図るため、資金需要に応じた融資枠を確保するとともに、大都市圏の企業の一部拠点を県内にサテライトオフィスとして誘致するほか、新事業や新産業の創出につながる県内ものづくり企業の新製品・新技術の開発を支援することとした。

### (3) 産業を担う人づくり

中高生にスゴ技企業等の魅力を発信するほか、ウェブ合同会社説明会など採用活動のオンライン化に取り組む中小企業の人材確保を支援するとともに、5日間の職場体験学習を通して中学生の勤労観や職業観の育成を図り、将来の地元就職を促進するほか、本年夏に本県で開催する若年者ものづくり競技大会に向けた選手強化を支援することとした。

また、人材不足が顕著な介護分野や農林業において、外国人技能実習生や留学生の受入体制の整備促進と技能向上を支援するほか、広域合併した県漁業

協同組合の組織力を生かした、漁業担い手育成のための研修機関の開設を後押しすることとした。

#### (4) 愛媛ブランドの確立

県産農林水産物の更なる知名度向上と販路拡大を図るため、大都市圏の飲食店に旬の食材サンプルを提供するとともに、健康志向を切り口にリアルとデジタルによる首都圏への県産柑橘のPR活動を実施するほか、ひめの凜やはだか麦、愛媛あかね和牛、媛スマの生産及び消費拡大とブランド確立に向けた取組みを支援することとした。

#### (5) 農林水産業の振興

農業の担い手確保対策として、JAや集落営農法人等が取り組む新規就農者や認定農業者の育成を支援するとともに、米や麦等の水田農業の生産基盤強化と大規模経営体の育成のほか、民間事業者によるCLT建築物の建設等への支援を促進することとした。

また、引き続き、アコヤガイ大量へい死の原因究明と強い貝づくりへの支援に全力で取り組むとともに、産地の官民組織が連携して県産真珠の販路拡大を図ることとした。

#### (6) 交通ネットワークの整備

令和3年度中の完成に向け岩城橋の整備を進め、上島地域の暮らしの利便性向上や産業振興を促進するとともに、地域経済の活性化や災害時の緊急輸送等で重要な役割を果たす地域高規格道路大洲・八幡浜自動車道建設を着実に進めることとした。

### 3 お年寄りや障がい者に愛顔を

#### (1) 医療体制の充実

県内の医師不足や地域間の医師偏在の解消を図るため、県内外の医療機関を退職する医師と医師不足地域の医療機関とのマッチングを支援するプラチナドクターバンク等を通じた医師確保対策を推進するとともに、本年夏の開院に向け県立新居浜病院の建替整備を進めることとした。

また、国民健康保険加入者を対象に健診データ等を活用したスマートフォン健康アプリを運用して健康意識の向上や生活習慣の改善を図るほか、令和4年に本県で開催する献血運動推進全国大会の円滑な準備に取り組むこととした。

#### (2) 支え合う福祉社会づくり

介護分野において、オンライン面会の導入等を進めるため、AI技術の活用やICT機器の整備等を支援するとともに、本県ゆかりの匿名の方からの寄附金を活用し、県在宅介護研修センターでのオンライン研修の実施環境を整備することとした。

また、急増する児童虐待の防止に向け、拠点病院を中心とした児童虐待防止ネットワークを形成して支援体制を強化するとともに、発達障がい児への支援ニーズの高まりを踏まえ、市町と連携してワンストップで対応する総合相談窓口の整備を進めるほか、障がい者の芸術文化活動の機会拡大を図るため、障がい者芸術文化祭を開催することとした。

#### 4 子どもたちや女性に愛顔を

##### (1) 結婚・出産・子育て支援の充実

少子化対策として、デジタルツールを活用した独身男女の出会いの場の提供等を行うえひめ結婚支援センターの機能拡充を図ることとした。

また、社会全体で次代を担う子どもたちを応援していくため、官民共同で創設した「子どもの愛顔応援ファンド」を活用し、休日子どもサポートなど市町との連携事業や、民間企業と連携した赤ちゃん用の肌着の提供や紙おむつの購入、不登校児童生徒の居場所づくりへの支援など、愛媛オリジナルの子育て支援施策の充実に取り組むこととした。

##### (2) 教育の充実と文化の振興

小規模な県立高校の活性化等を図るため、地域と連携して入学生の全国募集を行う学校の取組みを促進するとともに、不登校児童生徒の多様な教育の機会の確保を図るため、市町教育委員会と連携して校内サポートルームのモデル設置に取り組むこととした。

また、ICTを活用した学習支援の強化を図るため、テストやドリルの自動採点システムの開発に取り組むほか、私立学校の経営安定化と保護者の負担軽減のため、運営費の補助を行うこととした。

さらに、「愛顔」あふれる感動エピソードや写真を全国に発信することにより、本県が提唱する「愛顔」の浸透と本県のイメージアップを図るとともに、愛媛国際映画祭の開催を通して、映像文化の振興や地域の活性化を進めるほか、四国遍路の世界遺産登録の推進や、匿名の寄附金を活用し、歴史文化博物館での四国遍路に関連するシンポジウムを開催することとした。

##### (3) スポーツ立県の推進

東京オリンピック・パラリンピックに先駆けて全国で開催される聖火リレー等を実施するほか、各国代表チームの事前合宿の受入れ等に取り組むとともに、優れた競技力と指導力を持つスポーツ専門員を活用した競技力向上対策や、国際大会で活躍できる日本代表選手の輩出に向け、ジュニアアスリートの発掘とスポーツ医科学等に基づくきめ細かな育成に取り組むこととした。

また、2022年プロ野球オールスターゲームの本県開催に向けた機運醸成など、「愛・野球博」の開催を通じて、交流人口の拡大や野球文化の定着を図るとともに、ウォーキングの実践指導やスマートフォンアプリを活用した運動機会の提供など、県民誰もが楽しめる生涯スポーツを推進することとした。

#### (4) 持続可能な地域づくり

コロナ禍によって、大都市圏から地方への移住や場所を選ばない柔軟な働き方を希望する人々が増加していることに着目し、本県への更なる移住者の呼び込みと定住を促進していくため、南予への移住拡大や首都圏経済界と連携した企業のテレワーカーをターゲットとした移住者誘致を促進するとともに、移住希望者が候補市町で仕事を実体験できる機会の提供や、求人・移住総合情報サイト「あのこの愛媛」を活用した雇用・移住のマッチングに取り組むこととした。

また、デジタルマーケティングを活用して本県への新たな移住希望者を開拓するほか、オンラインでの移住フェアや移住コンシェルジュを通じた情報の発信と地域おこし協力隊ネットワークを核とした移住者の受入態勢を強化することとした。

#### (5) 参画と協働による地域社会づくり

市町等が自らの創意工夫により取り組む特色ある地域づくりへの支援を行うほか、女性を応援する先進的な県を目指して、ひめボス宣言事業所の自主目標達成に向けたフォローアップや優良事例の顕彰に取り組むこととした。

### 5 観光に愛顔を

#### (1) 自転車新文化の拡大・深化

サイクリングパラダイス愛媛の実現に向け、オール愛媛体制で総合的・戦略的にサイクリングによる交流人口の拡大や地域活性化を図るとともに、愛媛を発着点とした四国一周サイクリングの更なる認知度向上と参加促進や、ナショナルサイクルルートに指定されたしまなみ海道サイクリングロード等の走行環境の整備に取り組むほか、シニアや女性層をターゲットに裾野拡大を図るため、事業者等と連携したE-BIKEの普及と全県エリアでの利用拡大を進めることとした。

#### (2) 観光振興と愛媛の魅力発信

サイクリストの聖地として世界に確固たる地位を確立しつつあるしまなみ海道において、随一の雄大な景観を誇る来島海峡大橋を核に、魅力発信を通じた一層の誘客促進やサイクルツーリズムのブランド形成に取り組むとともに、国内大手オンライン旅行サイトの活用や、「疲れたら、愛媛」を切り口にした観光プロモーションの展開を通じて、地域の活性化を図ることとした。

また、統一コンセプト「まじめ」の浸透に向け、SNSや著名人によるプロモーション活動を推進するほか、本年春にジップラインで結ばれるえひめこどもの城ととべ動物園、隣接する総合運動公園が連携した「とべもり」エリアの魅力発信と集客促進に取り組むこととした。

#### (3) 国際観光・交流の推進

松山空港と台北、ソウル、上海を結ぶ国際定期路線の早期運航再開を見据

え、現地でのSNSを活用したプロモーションや県内でのバーチャル旅行体験会の開催に取り組むなど、イン・アウト両面から効果的な誘客対策を進めることとした。

## 6 地域の安全・安心に愛顔を

### (1) 防災・減災基盤の整備

南海トラフ地震等の大規模災害に備え、地域住民の避難や緊急物資の輸送等に大きな役割を果たす緊急避難道路の改良や危険箇所解消、橋りょうの耐震補強等に取り組むほか、伊方原発の避難道路の整備や周辺地域の道路安全施設の整備等を進めることとした。

また、豪雨災害等による浸水や洪水の被害防止のため、河川堤防や水門・樋門の緊急補強をはじめ、土砂の堆積が著しい箇所の河床掘削を推進するとともに、護岸補強等の海岸保全施設の改良や、災害時の避難や緊急物資の輸送等に必要港湾施設の機能強化、がけ崩れ防止対策や砂防施設の緊急的な機能強化を図るほか、地震等による大規模災害に備え、防災重点ため池の耐震対策工事等を行うこととした。

### (2) 地域防災力・避難対策の充実

自助・共助による地域防災力の一層の向上を図るため、自主防災組織や企業・団体等の構成員を対象に防災士の養成を加速するとともに、SNS（コミュニケーションアプリ・LINE）を活用した災害時の避難状況の把握等を行うシステムを構築するなど、新たな避難行動の定着促進に取り組むこととした。

### (3) 公共施設等の耐震・長寿命化対策の推進

災害時の防災拠点となる県庁第二別館の建替えに向けた設計調査に取り組むとともに、議事堂の耐震改修や衛生環境研究所の建替整備のほか、県立学校施設の長寿命化改修を計画的に推進することとした。

### (4) 警察施設の耐震化等

県都松山市の中心部を管轄し、災害時の活動拠点となる松山東警察署の建替整備を進めるとともに、津波により浸水する危険性が高い西条警察署の非常用発電設備の移設を行うこととした。

### (5) 原子力防災対策の充実

原子力災害時に緊急時モニタリングの分析拠点である原子力センターが使用できなくなる場合に備え、代替分析拠点である衛生環境研究所に放射性物質濃度の測定機器等を整備することとした。

また、災害時の住民避難の実効性向上を図るため、伊方町内の避難経路における車両通行の円滑化対策に取り組むとともに、ドローンの更なる活用に向けた運航管理システムの改良や操作要員の育成を行うこととした。

## (6) 安心で魅力あるまちづくり

肱川流域における治水効果の早期発現と清流の復活に向けて、山鳥坂ダム建設事業の促進を図るとともに、J R 松山駅付近の連続立体交差事業の高架本体工事を進めることとした。

また、市町が取り組む民間木造住宅の耐震改修等を支援するとともに、老朽化が著しい県営鹿峰<sup>かののみね</sup>団地について、松山市との連携により近隣の市営住宅との集約整備に取り組むほか、県民の防犯意識の向上を図るため、新たにスマートフォンを活用した防犯アプリの整備を進めることとした。

## 7 地球に愛顔を

### (1) 地球温暖化対策の推進

気候変動の影響による県民生活や自然環境等への被害軽減を図るため、生態系や農作物等への影響調査や適応策の研究、各種データに基づく将来予測に取り組むこととした。

### (2) 環境と調和した暮らしづくり

プラスチックごみの削減を図るため、海洋プラスチックごみの実態調査や回収のほか、プラスチック代替製品の普及を推進するとともに、食品ロスの削減に向け、フードバンク活動の更なる普及促進や食品製造業者等による取組みを支援することとした。

## 8 効率的かつ効果的な行政運営

総務系事務を集約する総務事務センターを設置して、県庁組織の政策立案機能の強化と働き方改革を推進するとともに、定型的な業務について、ソフトウェアロボットの活用により自動化するR P Aの対象業務を拡大し、行政サービスの一層の充実を図ることとした。



◎ この結果

令和3年度当初予算の総額は、

一般会計	6, 948億円	(前年度当初 6, 430億5, 000万円)
特別会計	2, 507億2, 800万円	(前年度当初 2, 576億3, 700万円)
企業会計	706億2, 300万円	(前年度当初 724億 500万円)
合計 1兆	161億5, 100万円	(前年度当初 9, 730億9, 200万円)

であり、これを前年度当初と比較すると、

一般会計	517億5, 000万円の増	(8.05%の増)
特別会計	69億 900万円の減	(2.68%の減)
企業会計	17億8, 200万円の減	(2.46%の減)
合計	430億5, 900万円の増	(4.42%の増)

となっている。

なお、一般会計当初予算に充当した財源は、

国庫支出金	1, 012億9, 900万円
負担金、寄附金等	39億4, 100万円
その他の特定財源	1, 054億3, 300万円
一般財源	4, 841億2, 700万円

[	県 税	1, 416億円
	地方消費税清算金	605億5, 600万円
	地方交付税	1, 764億円
	県 債	748億 400万円
	そ の 他	307億6, 700万円

である。